



アスペルガー青年の手記 薬剤師がまとめ出版



●昨年末、特別支援学校をつくる運動の中で知り

合った薬剤師の臼井志乃さんと、彼女の著したばかりの本を持ち伊藤県教育長を訪れた。著書「ギザギザハートのアスペルガー」は精神科病院で出会い治療にあたった発達障害の青年・慎太君と著者と

の記録です。

●自閉症スペクトラム障害・アスペルガー症候群という発達障害への無理解からくる暴行、虐待、苦痛、自己喪失、無感覚、無表情…、手記は生々しい。教室に、独り座る背に、哀しみと生への渴望をみる教師であってほしい、医療現場だけでなく教育現場でこそ読んでほしい、と想っての訪問でした。

教育長は精神科薬名や病院の話で臼井氏と盛り上がり意気投合。なんと彼は「薬剤師」で病院勤務していた方、薬剤師の県教育長なんて初耳です。謹呈のつもりが教育長二冊、平石特別支援課長も一冊お買上げ！

●年明け、県内売上ベストワン（1月16日発表）獲得以来、5週連続でトップ10に名を連ねている。アスペルガー等の発達障害、生きにくさを持つ児童・生徒への理解が、この本を読むことで少しでも広がることを願っています。（高知民報投稿文）

■金高堂書店調べ

- ①臼井志乃著「ギザギザハートのアスペルガー」
（リーブル出版・1430円）
- ②土佐中高100年人物伝刊行委員会編「筆山の麓 土佐中高100年人物伝」（高知新聞総合印刷・1200円）
- ③谷本真由美著「世界のニュースを」

■県内TSUTAYA調べ

- ①宇佐美まこと著「羊は安らかに草を食み」
（祥伝社・1870円）
- ②臼井志乃著「ギザギザハートのアスペルガー」
（リーブル出版・1430円）
- ③永松茂久著「人は話し方が9割」



♪ そんなにオシが悪いのか ♪♪

♪ アーア わかってくれとは言わないが ♪♪

♪ で、ファイギュアを作製し完成となった。

♪ 破天荒薬剤師、臼井志乃★表紙は「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する

♪ 破天荒薬剤師、臼井志乃★表紙は「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する

♪ 破天荒薬剤師、臼井志乃★表紙は「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する

♪ 破天荒薬剤師、臼井志乃★表紙は「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する

「ギザギザハートのアスペルガー」(著者:臼井志乃/手記:中原慎太/リーブル出版1300円)

★自閉症スペクトラム障害、アスペルガー症候群という診断に対し「肩書はあって損はない」

「どんな肩書があるうが僕は僕なわけ、肩書をどう見るかはその人次第」と青年慎太。その慎太を「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する破天荒薬剤師、臼井志乃★表紙は「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する

「ギザギザハートのアスペルガー」(著者:臼井志乃/手記:中原慎太/リーブル出版1300円)

★自閉症スペクトラム障害、アスペルガー症候群という診断に対し「肩書はあって損はない」

「どんな肩書があるうが僕は僕なわけ、肩書をどう見るかはその人次第」と青年慎太。その慎太を「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する破天荒薬剤師、臼井志乃★表紙は「自分自身を愛せているのだ」と肯定的に分析する



「ギザギザハートのアスペルガー」(著者:臼井志乃/手記:中原慎太/リーブル出版1300円)